

作物のCSNV検査

〈対象作物〉

キク、アスター、トルコギキョウ、トマト、ピーマン等

CSNV

- 病原** キク茎えそウイルス：
CSNV (*Chrysanthemum stem necrosis virus*)
- 感染** ウイルスを保毒したアザミウマ類の摂食や、感染親株からの挿し穂などの栄養繁殖により伝染する。
- 症状** 茎にえそ条斑を生じる。
葉に退緑斑、えそ輪紋、奇形を生じる。
トマトでは、果実にもえそ斑点、着色異常、奇形を生じる。
症状は、トマト黄化えそウイルス (TSWV) と似ているため、外見での識別は難しい。

- 主な病害**
- 茎えそ病：キク、アスター、トルコギキョウ、トマト
 - えそ輪点病：ピーマン

このような場合におすすめです！

- ・作物に上記症状がみられる
- ・圃場内や圃場周辺にアザミウマ類が発生している
- ・キク親株で上記症状がみられる



キク 葉の退緑斑



キク 葉の退緑斑



キク 葉のえそ輪紋



キク 茎のえそ条斑

検体の送付方法 常温便(夏季高温期はクール便)

CSNV 感染検査のみ

・地上部全体

症状がみられる植物体の地上部を袋に入れ密閉する。なお、地際の茎を切断する際は、清潔な刃物を使用し、切り口は十分湿らせたティッシュで包む。

CSNV 以外の病害も診断する場合

・根を含む株全体

土壌が茎葉部に付着しないよう、根を湿らせた紙で包んでビニール袋に入れ、更に株全体をビニール袋に入れ密閉する。具体的な手順は、「病害虫診断 検体の送付方法」をご参照ください。



検査の方法

【RT-PCR法】

検体からウイルス RNA を抽出し、RT-PCR 法により検査します。

注意事項

乾燥・枯死した検体は、検査できません。

報告書

- ・病原ウイルスの感染を検査したうえで、最適な対応策をご提案します。
- ・検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

